



発行元：民主党プレス民主編集部

東京都千代田区永田町 1-11-1

TEL：03-3595-9988（代表）

連絡先：民主党静岡県参議院選挙区第3総支部

静岡市駿河区南町 6-16 パレ・ルネッサンス 202-2

TEL：054-280-7604 FAX：054-285-7993

号外



参議院議員

藤本祐司

2010年9・10月号

## マニフェストは絶対に死守すべきか

時に定説を疑ってみることは大切だ。今、私が疑っている定説の一つが「絶対にマニフェストを修正してはいけないのか？」である。私は「マニフェストは有権者との契約であるから、絶対に修正しないで、守らなければいけない」と考えていた。しかし、最近「本当にそうだろうか？」という疑問がわき始めた。

私は21年余に渡り民間企業で働いてきたが、民間企業は、事業環境が変化すれば事業内容を見直す。その変化に対応できない企業は倒産の危機に追いやられる。変化に対して柔軟に対応できるかどうか、企業が生き残れるか否かの別れ道である。

政治については、継続性が必要な政策もある一方で、**変化に対応する柔軟性も必要**だ。総選挙の政権公約（＝マニフェスト）は、有権者の皆様との約束である。約束は守らなければならないという主張は正しい。しかし、それだけを理由にマニフェストを全く修正しないということが、本当に『正義』なのだろうか。

“これからの『正義』の話をしよう”という本が売れているようだ。米国のハーバード大学の政治哲学者マイケル・サンデルの著作である。サンデルは、『正義』へは2つのアプローチがあるという。1つは「正しい行いとは、総合的に考えて、最善の状況を生み出すすべてのこと」であり、もう1つは「道徳的に言えば、結果だけを考えれば良いわけではない。」ということである。丸めて言うと、前者は「良い結果を生むことが大事である。」というこ

とであり、後者は「結果が悪くても守らなければならない権利や義務はある」ということである。

道徳的に言えば、選挙時の約束（＝マニフェスト）を守るというのは、正義である。しかし、後生大事にマニフェストを守った挙げ句に、最善の状況を生み出せなくなってしまうとしたら、国民を幸せにするという政治の目的は達成できなくなる。

昨年の総選挙の時と状況が変わった。例えば、初めて政権交代して知ったことが沢山あった。これまで与党と官僚が都合の悪い情報を出してこなかったことも大きな要因だが、事実を知ってマニフェストのすべては実行できない状況であることがわかった。蓋を開けたら、税収が前政権の見積りよりも9兆円近く少なかった。財源が想定以上に足りなかったのだ。特別会計の埋蔵金を活用しようと思ったら、麻生政権が使えるだけ使ってしまった。また、昨今の急速な円高や欧米の経済の低迷なども予想以上だった。

こうした状況変化の中で、頑なにマニフェストを守ることだけが正義であるとは思えない。変化に柔軟に対応することも重要である。**見直す勇気をもってマニフェストを修正すべきだ**。ただ、白紙に戻して良いわけではない。国民との選挙時の約束であるから、**理念や基本方針は変えてはならない。基本となる軸さえぶれなければ、幸福の最大化に向けて政策実行の方法や行程、予算などを修正することは許される**と私は思う。もちろん、**大切なのは、マニフェストの修正理由と修正後の政策を丁寧に説明すること**であることには疑いはない。

参議院議員選挙のため、民主号外をしばらく発行しなかったため、この「自分史」も5月号以来です。今回から再開しますので、お楽しみに(何人かの方々に言われました。表よりも裏の「自分史」の方が面白いと・・・。)

話を5月号の続き(今から38年前の中学時代)に戻そう。沼津一中の同級生には、今回の選挙でもたいへんお世話になった。

中三の夏休みになると、そろそろ高校受験に向けてそわそわし始める。それまでクラブ活動に熱心だった生徒が夏休みを終えてから勉強に取り組むようになり、学年順位も微妙に上下する。そうこうするうちに進路相談の時期に。担任の故田村先生からは「沼津東高1つにしよう。微妙な線だが、大丈夫だろう」とのんきな話。受験回数は少ない方が楽だと思い、「そうします」と何も考えずに安易に決めた。6年前、サラリーマンをさっと辞めて、お金もないのに一度も経験したことのない参議院議員選挙に挑戦した度胸の良さ(楽観主義)は、昔から変わらない。高校受験にはなんとか合格したものの試験の出来は良くなかった。

内心、「他の高校を受けていないから、お情けで受かったのではないか」と思うほど、自分では出来が悪いと思った。

この頃から、「リスクがあってもなんとかぎりぎりで乗り切る」という楽観主義の綱渡り人生が始まったのではないかと感じる。

大学受験は、親から2浪は駄目と言われていたが、2年目で合格(1年目は全滅)。自動車免許の学科試験も合格ラインぎりぎり。最近では、1回目の選挙が7,500票差で辛勝。今回の選挙は党から選挙対策費を支給されないとあきらめていたら、選挙直前に小沢前幹事長が辞めたお陰で選挙2週間前に新執行部が支給を再開してくれた。強運の持ち主なのか綱渡り人生なのか。ただ、大きな幸運には恵まれないものの、そこそこの幸運であることが自分らしい。

さて、とりあえず沼津東高に入学して喜んでいたのも束の間、“狂気”の応援練習が待っていた。「ここが憧れの沼津東高なのか?!」が、ここでも、幸運の持ち主、藤本祐司の綱渡り人生が本領を発揮することになる。

### <お知らせ>

#### ◇民主号外の発行月の変更のお知らせ(隔月・奇数月に発行)

毎月発行してきました「民主号外」は、今回以降、隔月発行とさせていただきます。選挙が実施される場合を除いて、原則奇数月(1、3、5、7、9、11月)のはじめに発行します。民主号外の発行回数が減る代わりに、公式ウェブサイトやブログを可能な限り更新致しますので、是非メールマガジンの登録をお願い致します。

#### ■藤本ゆうじのラジオ番組「藤本ゆうじのかる～くポリティックス」

\*9月の放送は9月24日(金)、10月は10月22日(金)の18:30~19:00です。FMHi(76.9MHz)でお楽しみください。9月24日は、民主党代表選裏話かな・・・?!

■藤本ゆうじのホームページにアクセスしてください。 <http://www.fujimoto-yuji.org/>

\*藤本ゆうじの政府や国会での活動、政治姿勢や考え方を知ることができます。

藤本ゆうじ静岡事務所：〒422-8067 静岡市駿河区南町6-16 パレ・ルネッサンス202-2

TEL：054-280-7604 FAX：054-285-7993 Eメール：office-fujimoto@fujimoto-yuji.org